

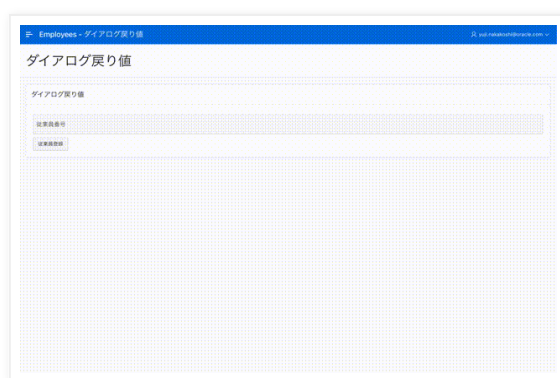
# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年2月19日 金曜日

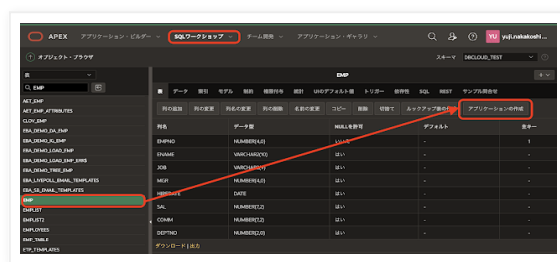
## モーダル・ダイアログ上のページ・アイテムの値を開いたページに戻す

モーダル・ダイアログ上のページ・アイテムの値を、それを開いたページのページ・アイテムに戻すには？という質問があったので、手順を記述します。

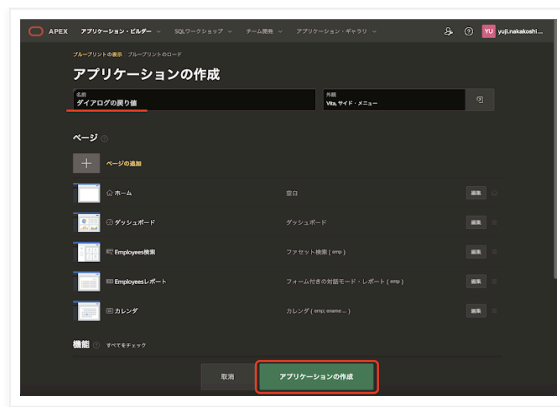


サンプル・データセットのEMP/DEPT表を利用して、モーダル・ダイアログを開いて新規に従業員を登録し、そこで割り当てられる従業員番号を、モーダル・ダイアログを開いたページのページ・アイテムに戻します。

実装を行う元になるアプリケーションを作成します。SQLワークショップからオブジェクト・ブラウザを開き、EMP表を選択します。そこで、アプリケーションの作成を実行します。



アプリケーション作成ウィザードが開いたら、アプリケーションの作成を実行します。すべてデフォルトで構いませんが、アプリケーションの名前は変更した方が良いでしょう。



作成されたページの中に表EMPを更新するフォームのページが含まれます。このページを呼び出して、従業員を作成する新たなページを作成します。

**ページの作成**を実行します。



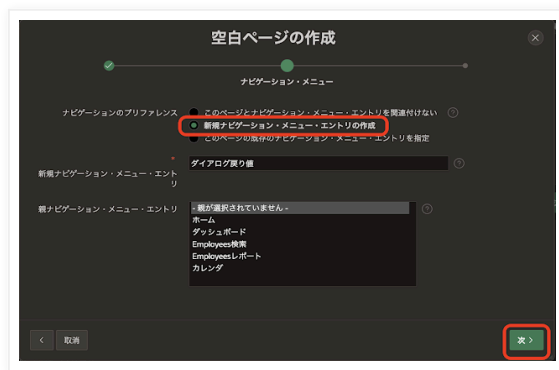
コンポーネントの空白ページを選択します。次に進みます。



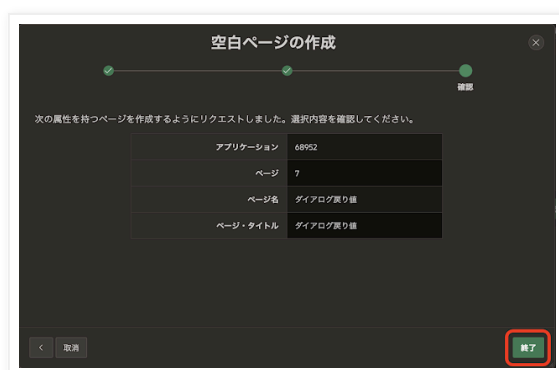
ページの名前をダイアログ戻り値とし、ページ・モードは標準、オプションの静的コンテンツ・リージョンを開き、リージョン1としてダイアログ戻り値(リージョンの名前になります)を設定します。これでページの作成と同時に静的リージョンが1つ追加されます。次に進みます。



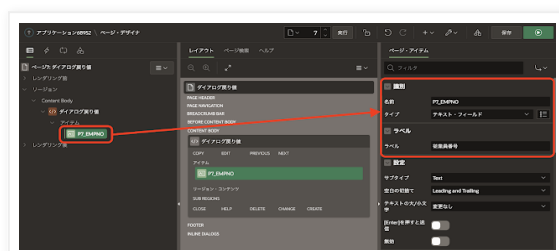
ナビゲーションのプリファレンスとして、新規ナビゲーション・メニュー・エントリの作成を選択し、次に進みます。



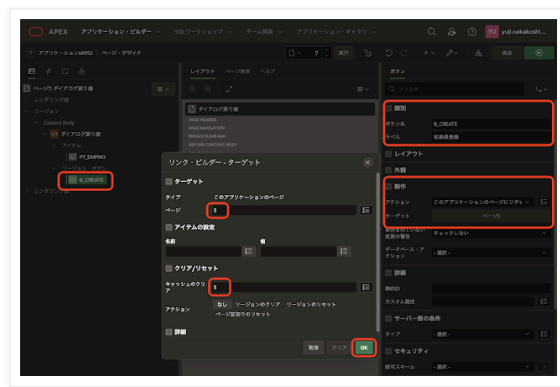
内容を確認して、終了をクリックします。



ページが作成されたら、静的リージョンに従業員番号を保持するページ・アイテムP7\_EMPNOを作成します。タイプはテキスト・フィールド、ラベルは従業員番号とします。



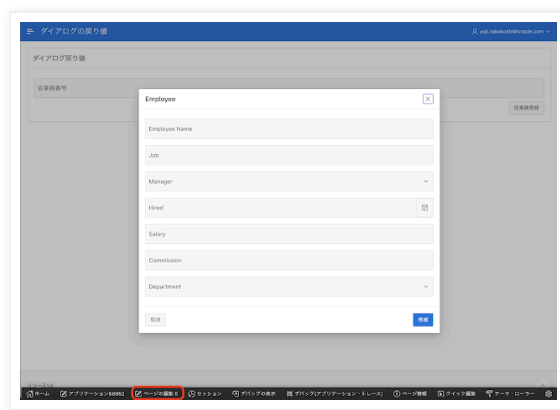
続いて、従業員を登録するダイアログを開くボタンを作成します。名前をB\_CREATE、ラベルは従業員登録とします。動作のアクションとして、このアプリケーションのページにリダイレクトを選択し、ターゲットの設定を行います。今回はフォームのページが5なので、ページは5、キャッシュのクリアにも5を設定し、OKをクリックします。一旦、この状態でページを保存します。



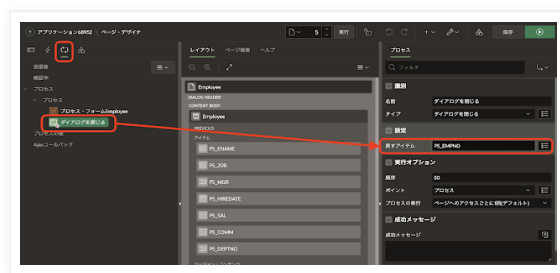
以上で、従業員登録のボタンをクリックするとフォームが開き、従業員を登録できるところまで、ページの作成ができています。

これから従業員番号をモーダル・ダイアログから元のページに戻す実装を行います。

フォームのページを開いて、**開発者ツール・バーよりページの編集**を実行します。ページ・デザイナーが開きます。

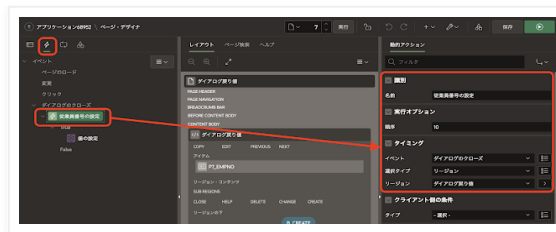


左ペインにて**プロセス・ビュー**を開き、**ダイアログを閉じる**という名前のプロセスを選択します。右ペインの**プロパティ・エディタ**の設定に含まれる**戻すアイテム**に、従業員番号である**P5\_EMPNO**を設定します。ダイアログ側の設定は以上です。ページを**保存**します。

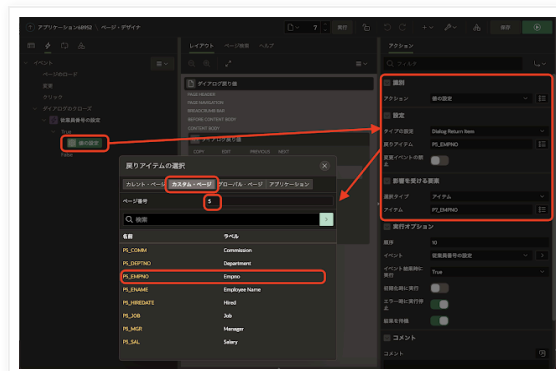


ダイアログ戻り値のページを再度ページ・デザイナーで開きます。左ペインで動的アクション・ビューを開き、ダイアログのクローズのタイミングで実行される動的アクションを登録します。

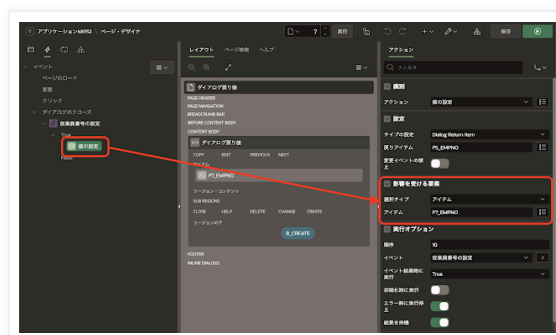
名前を従業員番号の設定とし、**タイミング**は**イベント**が**ダイアログのクローズ**、**選択タイプ**は**リージョン**、**リージョン**は（ダイアログを開いたボタンのある）**ダイアログ戻り値**という名前のリージョンを設定します。



Trueアクションを設定します。**アクション**は**値の設定**を選択します。**設定のタイプ**の設定として、**Dialog Return Item**を選択します。これでダイアログのクローズというプロセスに設定した、P5\_EMPNOの値を受け取ることができます。**戻りアイテム**にP5\_EMPNOを設定します。現在編集集中のページにあるページ・アイテムではないので、選択リストからは**カスタム・ページ**を選んでページ番号5を指定して、**P5\_EMPNO**を見つけます。直接、文字入力することもできます。



値の元となるページ・アイテムの設定に続いて、設定先となるページ・アイテムを設定します。影響を受ける要素として、**選択タイプ**を**アイテム**、**アイテム**を**P7\_EMPNO**とします。



以上で設定は完了です。ページを実行すると、最初のGIF動画になります。

アプリケーションのエクスポートを以下に置きました。実行にはサンプル・スキーマのEMP/DEPTが必要です。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/dialogreturnitem.sql>

Oracle APEXのアプリケーション開発の一助になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 18:47

共有

[ウェブ バージョンを表示](#)

#### 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---